

人と人、人と自然とのつながりを学ぶ環境学習 地域の人々とつくる「葉山川博物館」

草津市立笠縫東小学校

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、実行していける子どもをめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、近年はFBC（フラワーボーコンクール）にも参加し、自然や生き物とのふれあいを体験させる学習を積み重ねてきている。

2 「エコ・スクール笠縫東」がめざすもの

(1) キーワードは、「つながり」

平成17年度より滋賀県のエコ・スクール実践校の指定を受け、環境教育を進めている。現在では、地球温暖化、オゾン層の破壊、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかなければならない問題である。一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人と自然のつながりを学び、思いやりの心をもって行動できる子どもを育てることにある。

(2) エコ・スクールは、仲間づくりから…

笠縫東小学校での「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

本校では、地域の方々にお世話になりながら地域の川である「葉山川」を基点に環境学習を進めており、このことから「葉山川学習」

と総称している。

葉山川学習では、次のような目標を掲げ、活動に取り組んでいる。

- ①「子どもと子どもがなかよくしよう」
- ②「子どもと自然がなかよくしよう」
- ③「子どもと大人がなかよくしよう」
- ④「地球にやさしく行動しよう」

(3) 人と自然のつながりを学ぶ「葉山川学習」

本校では、全学年が、生活科・総合的な学習の時間を中心に、葉山川や身近な自然をテーマにした環境学習「葉山川学習」に取り組んでいる。

この学習の一番のねらいは、自分の育ったふるさとの環境に愛着や誇りをもつことである。様々な学習活動を通して、その保全について考え、行動できる子どもを育てることにつながる。その学びの過程においては、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。



4年生「葉山川探検」

地域には、子どもの学習活動をサポートする「地域協働学校推進委員会」があり、また、エコ・スクールについても、活動を支援する「エコ・スクール支援委員会」があり、学校

と地域とが連携する体制がとれている。

子どもたちには、学習を通して、自然のすばらしさや人のあたたかさに気づき、ふるさとを大切に作る心が養われてきている。

(4) 葉山川博物館・交流会をつくる

上学年は学習の出口として、下学年に向けて学習したことを伝える「交流会」をもった。7年間の取り組みの中で、各学年で学習する内容はほぼ固まりつつあり、その枠の中で子どもたちは課題を見つけ、学習をまとめている。4年生は3年生に、5年生は4年生に、6年生は5年生に、1年間の葉山川学習の成果を伝える。それぞれ下の学年は、上の学年の発表を聞き、来年の学習への見通しをもつことができた。

(5) 6年間を通した取組

低学年では川原にある草花を中心に、生活科の遊びの中で身の回りの生命に触れている。

中学年では、理科の学習と併せて、昆虫や水生生物などの小動物の観察を中心に調べ学習をしながら、「なぜこの生きものがここにいるのか。」ということについても考えられた。特に、4年生では、川探検で川の中に入り、水生生物や魚をつかまえたり、川底の感触や水の冷たさを体感したりすることにより、より身近な川に感じる事ができた。また、川の中に多くみられるごみの問題についても考える機会となった。



6年生 「笠縫東子ども環境会議」

高学年では、葉山川から琵琶湖に視点を広げて、5年生では、フローティングスクールでの学習に加えて、外来魚についても体験を交えた学習を行った。6年生では、富栄養化の原因は何かということが実験を通して学習できた。また、6年間学習してきたことを基に、環境保全について自分たちにできることは何かを話し合う「笠縫東小学校子ども環境

会議」を開き、今までお世話になってきた方々の代表の前で、自分たちにできることを提言できた。

3 子どもの博物館づくりを支援する

教師・保護者・地域住民・市民団体・行政・学識者などが、「エコ・スクール支援委員会」を設置し、子どもたちの葉山川学習をサポートする仕組みを整えている。委員会では、自然や人のかかわりを大切にした学習プログラムづくりや支援のあり方について議論してきた。

4 つながる博物館・葉山川博物館が完成

毎年地域で開催されている学区民の交流祭りの日に「葉山川博物館」を開館している。多くの来館者があり、一方的に展示を見せるのではなく、子どもたちと地域の人々との交流し、つながりが生まれた。

5 子ども学芸員タイム

上学年の子どもたちが、展示物の前に立ち、直接展示物の解説を行う時間を設けた。

子どもたちは、自分の言葉でふるさとの自然について語る事ができていた。



全校「葉山川博物館」の取組

6 地域とのつながりを深める

今後も人と人とのつながり、人と自然とのつながりを大切にしながら、環境学習を進めていきたい。葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりは、今後も続いていくだろう。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、町づくりである。子どもたちが自分の住む町に愛着や誇りをもつことこそ、その第一歩である。

学校名	草津市立笠縫東学校
住所	草津市平井3丁目8-1
電話番号	077-564-4391
E-mail	info@kasanuihi-p.sk.ed.jp